

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	平成リハビリテーション専門学校
設置者名	社会福祉法人 関西中央福祉会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	昼間	62 単位	3 単位×3 年	無
	作業療法学科	昼間	62 単位	3 単位×3 年	無
医療専門課程	言語聴覚療法学科	昼間	36 単位	3 単位×3 年	無
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://heisei-reha.jp/course/evaluation/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	平成リハビリテーション専門学校
設置者名	社会福祉法人 関西中央福祉会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程（カリキュラム）の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善工夫などを含む。以下同じ。）に活かすことを目的にした組織。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
理学療法士協会 支部局長	1年間	教育課程編成委員
兵庫県作業療法士協会 理事	1年間	教育課程編成委員
(備考) その他に 兵庫県言語聴覚士協会 阪神南ブロック長 も委員として参加		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	平成リハビリテーション専門学校
設置者名	社会福祉法人 関西中央福祉会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスの作成については、本校で作成したシラバス作成の仕方にて、シラバスに記載する項目及び記載方法を専任教員、非常勤講師に示し、作成を依頼している。学生には履修開始の際に配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 履修認定規定及びシラバスに記載している成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位を認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) GPA等客観的指標を策定し、成績状況の把握に使用。成績評価は適切に実施している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ディプロマポリシーにて、卒業認定の方針を定めている。 卒業認定・要件は、「平成リハビリテーション専門学校 学則」に定めている通りに、各学科とも、当該年数の課程を履修し、かつ必要な必須科目全てを履修し、その成績が可上であること。 卒業判定会議を経て決定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>当校ホームページ https://heisei-reha.jp/about/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	平成リハビリテーション専門学校
設置者名	社会福祉法人 関西中央福祉会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
財産目録	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
事業報告書	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
監事による監査報告（書）	法人事務所にて随時閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	理学療法	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3165時間／153単位 単位時間／単位	単位時間 108/単位	単位時間 3/単位	単位時間 42/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		101人	0人	9人	31人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスの作成については、本校で作成したシラバス作成の手引きにて、シラバスに記載する項目及び記載方法を専任教員、非常勤講師に示し、作成を依頼している。学生には履修開始の際に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 履修認定規定及びシラバスに記載している成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位を認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定においては、当該年数の課程を履修し、かつ必須科目全てを履修し、その科目の評価が可以上。 進級認定においては、各学年で履修すべき基礎分野・専門基礎分野・専門分野のすべての単位を修得していること。
学修支援等

(概要)
各学科学年の担任及び専任教員が随時個別面談を行い、学修指導等を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35人 (100%)	0人 (0%)	21人 (60%)	14人 (40%)
(主な就職、業界等) 病院・老人保健施設・医院・クリニックほか			
(就職指導内容) クラス担任や専任教員が随時相談や面談の練習等を行っている。 就職活動に向けてオリエンテーション、外部業者による就活対策講座（面接、履歴書の書き方）を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
111人	14人	12.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更・就職・体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 成績不良者の対応について、担当教員が単位取得状況や出席日数を確認し、規定の欠課日数や不認定単位数に達するか等、そのような可能性が高い状態で保護者へ警告・連絡するとともに来校依頼し学生本人を交えて三者面談を実施している。 通常は出席状況に問題がある生徒に対しては三者面談を行い、就学継続意思の確認をとった上で、休学もしくは退学の手続きを行うことになる。 また、成績不良とまではいかない生徒で、実習などを目前にして不安による自信喪失を訴える生徒に対しては、補習実技講義を行い対応している。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	平成リハビリテーション専門学校
設置者名	社会福祉法人 関西中央福祉会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
財産目録	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
事業報告書	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
監事による監査報告（書）	法人事務所にて随時閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	作業療法	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3165時間／153単位 単位時間／単位	単位時間 108/単位	単位時間 3/単位	単位時間 42/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		69人	0人	9人	31人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスの作成については、本校で作成したシラバス作成の手引きにて、シラバスに記載する項目及び記載方法を専任教員、非常勤講師に示し、作成を依頼している。学生には履修開始の際に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 履修認定規定及びシラバスに記載している成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位を認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定においては、当該年数の課程を履修し、かつ必須科目全てを履修し、その科目の評価が可以上。 進級認定においては、各学年で履修すべき基礎分野・専門基礎分野・専門分野のすべての単位を修得していること。
学修支援等

(概要)
各学科学年の担任及び専任教員が随時個別面談を行い、学修指導等を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	17人 (71%)	7人 (29%)
(主な就職、業界等) 病院・老人保健施設・医院・クリニックほか			
(就職指導内容) クラス担任や専任教員が随時相談や面談の練習等を行っている。 就職活動に向けてオリエンテーション、外部業者による就活対策講座（面接、履歴書の書き方）を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	5人	5.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更・就職・体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 成績不良者の対応について、担当教員が単位取得状況や出席日数を確認し、規定の欠課日数や不認定単位数に達するか等、そのような可能性が高い状態で保護者へ警告・連絡するとともに来校依頼し学生本人を交えて三者面談を実施している。 通常は出席状況に問題がある生徒に対しては三者面談を行い、就学継続意思の確認をとった上で、休学もしくは退学の手続きを行うことになる。 また、成績不良とまではいかない生徒で、実習などを目前にして不安による自信喪失を訴える生徒に対しては、補習実技講義を行い対応している。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	平成リハビリテーション専門学校
設置者名	社会福祉法人 関西中央福祉会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
財産目録	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
事業報告書	https://heisei-reha.jp/about/disclosure/
監事による監査報告（書）	法人事務所にて随時閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	言語聴覚療法	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2835時間／131単位 単位時間／単位	単位時間 104/単位	単位時間 15/単位	単位時間 12/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		18人	0人	5人	人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスの作成については、本校で作成したシラバス作成の手引きにて、シラバスに記載する項目及び記載方法を専任教員、非常勤講師に示し、作成を依頼している。学生には履修開始の際に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 履修認定規定及びシラバスに記載している成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位を認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定においては、当該年数の課程を履修し、かつ必須科目全てを履修し、その科目の評価が可以上。 進級認定においては、各学年で履修すべき基礎分野・専門基礎分野・専門分野のすべての単位を修得していること。
学修支援等

(概要)
各学科学年の担任及び専任教員が随時個別面談を行い、学修指導等を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	5人 (71%)	2人 (29%)
(主な就職、業界等) 病院・老人保健施設・医院・クリニックほか			
(就職指導内容) クラス担任や専任教員が随時相談や面談の練習等を行っている。 就職活動に向けてオリエンテーション、外部業者による就活対策講座（面接、履歴書の書き方）を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 言語聴覚療法士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	1人	6.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 成績不良者の対応について、担当教員が単位取得状況や出席日数を確認し、規定の欠課日数や不認定単位数に達するか等、そのような可能性が高い状態で保護者へ警告・連絡するとともに来校依頼し学生本人を交えて三者面談を実施している。 通常は出席状況に問題がある生徒に対しては三者面談を行い、就学継続意思の確認をとった上で、休学もしくは退学の手続きを行うことになる。 また、成績不良とまではいかない生徒で、実習などを目前にして不安による自信喪失を訴える生徒に対しては、補習実技講義を行い対応している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法	400,000 円	600,000 円	520,000 円	
作業療法	400,000 円	600,000 円	520,000 円	
言語聴覚療法	400,000 円	600,000 円	520,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページ https://heisei-reha.jp/about/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会規程の内容に基づく (別添)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
病院 (理学・作業・言語聴覚療法士等) 3名	1年間	企業・関連施設
学生保護者・家族 1名	1年間	学生保護者
病院 (理学療法士) 1名	1年間	卒業生 同窓会会長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページ https://heisei-reha.jp/about/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページ https://heisei-reha.jp/ 当校機関紙 平成リハ通信 (学内掲示のみ)
--